

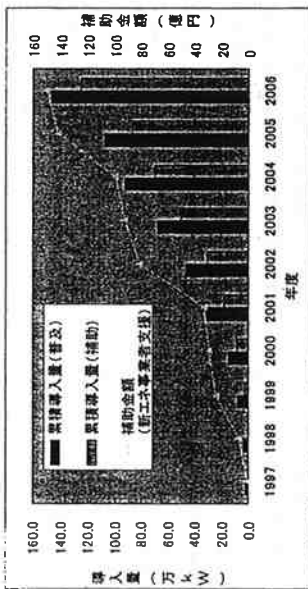
「新エネルギー対策の推進(バイオマス熱利用・太陽光発電等の利用拡大)」

の予算一覧

【経済産業省実施】		
1. 太陽光発電の利用		
・新エネルギー等事業者支援対策事業	352億72百万円	315億84百万円
・地域新エネルギー等導入促進対策事業	51億81百万円	44億65百万円
・新エネルギー技術フィールドテスト事業	—	108億24百万円 (統合新規)
・新エネルギー設備等導入促進情報提供等事業	3億90百万円	4億86百万円
・地域創発型新エネルギー人材支援事業費補助金	76百万円	52百万円
・再生可能エネルギー利用基盤技術研究開発	80百万円	1億60百万円
・新エネルギー等導入促進基盤調査委託費	4億00百万円	5億17百万円
・エネルギー需給構造高度化企画戦略費	5億28百万円	4億31百万円
・太陽光発電システム等高度化系統連系安定化技術国際共同実証開発事業	7億93百万円	3億12百万円
・新エネルギー技術研究開発	—	45億84百万円 (統合新規)
・次世代蓄電システム実用化戦略的技術開発	8億00百万円	49億00百万円
・大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究	7億00百万円	35億00百万円
2. 風力発電の利用		
・新エネルギー等事業者支援対策事業	352億72百万円	315億84百万円
・地域新エネルギー等導入促進事業	51億81百万円	44億65百万円
・日本型風力発電ガイドライン策定事業	2億81百万円	1億24百万円
・新エネルギー技術フィールドテスト事業	—	108億24百万円 (統合新規)
・風力発電電力系統安定化等技術開発	7億20百万円	2億20百万円
・風力発電系統連系対策助成事業補助金	18億68百万円	26億80百万円
・新エネルギー等導入促進基盤調査委託費	4億00百万円	5億17百万円
3. 廃棄物・バイオマス発電の利用		
・新エネルギー等事業者支援対策事業	352億72百万円	315億84百万円
・地域新エネルギー等導入促進事業	51億81百万円	44億65百万円
・バイオマス等未活用エネルギー実証試験	8億29百万円	8億95百万円
・バイオマスエネルギー地域システム化実験	17億00百万円	8億00百万円

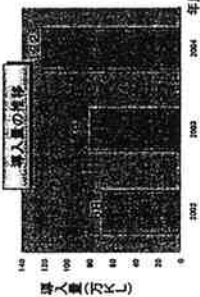
○導入量と補助金額の推移(風力発電)

- ・先進的な新エネルギー導入事業を行う事業者に対し、導入事業費の3分の1を補助する制度(新エネルギー等事業者支援事業)を実施することにより普及促進。
- ・平成18年度時点の普及導入量(146.9万kW)は、平成9年度時点の普及導入量(2.2万kW)に比べて約67倍に拡大。



○導入量の推移と普及に向けた取組(バイオマス熱利用)

引き続き、コスト低減に向けた技術開発や実証事業を進めるほか、効率的・効果的な補助金等の執行により2010年度における目標導入量(308万KL)の達成に向けて取り組む。



2006年度		2007年度
・新エネルギー技術研究開発	45億84百万円 (統合新規)	
4. バイオマス熱利用		
・新エネルギー等事業者支援対策事業	352億72百万円	315億84百万円
・地域新エネルギー等導入促進事業	51億81百万円	44億65百万円
・バイオマス等未活用エネルギー実証試験	8億29百万円	8億95百万円
・バイオマスエネルギー地域システム化実験	17億00百万円	8億00百万円
・新エネルギー技術フィードバック事業	—	108億24百万円
・新エネルギー技術研究開発	—	(統合新規)
・E3地域流通スタンダードモデル創成事業	—	45億84百万円
・バイオマス由来燃料導入実証研究	—	(統合新規)
・バイオマス由来燃料導入実証研究	—	7億60百万円 (新規)
・バイオマス由来燃料導入実証研究	—	9億50百万円 (新規)
【農林水産省実施】		
国産バイオ燃料の利用促進等バイオマスの利活用の推進	23,997百万円	32,551百万円
○国産バイオ燃料の利用促進	—	10,931百万円(新規)
①地域に眠る未利用のバイオマスの発見・活用	—	337百万円
・地域バイオマス発見活用促進事業	—	337百万円(新規)
②バイオ燃料地域利用モデルの整備と技術実証への支援	—	8,544百万円
・バイオ燃料地域利用モデル実証事業	—	8,544百万円(新規)
③資源作物の導入等に向けた研究開発等	—	2,050百万円
・地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発	—	1,500百万円(新規)
・木質バイオ燃料製造技術開発促進事業	—	30百万円(新規)
・水産業振興型技術開発事業	—	20百万円(新規)
等	—	—

2006年度		2007年度
○地域での取組を円滑に推進するための条件整備	23,997百万円	21,630百万円
①バイオマスタウンの構築等バイオマスの総合的利活用の推進	14,812百万円	14,296百万円
・地域バイオマス利活用交付金	—	14,346百万円(新規)
・広域連携等バイオマス利活用推進事業	150百万円	230百万円等
②その他のバイオマス利活用のための条件整備	9,185百万円	7,334百万円
【環境省実施】		
○地方公共団体率先対策補助事業		
(対策技術率先導入事業・学校への燃料電池導入事業)		
○地域協議会代エネ・省エネ対策推進事業	11億円の内数	10,23億円の内数
○廃棄物処理施設における温暖化対策事業	2.8億円の内数	2.8億円の内数
○市町村が廃棄物処理施設の建設等に併設するエネルギー回収施設の整備等支援	15.05億円	21.17億円
○地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター(起業支援)事業	483.83億円の内数	515.21億円の内数
○再生可能エネルギー高度導入地域整備事業	10,23億円の内数	8億円の内数
○メガワットソーラー共同利用モデル事業	7.5億円の内数	7.5億円の内数
○街区まるごとCO2削減事業	4億円	4億円
○ソーラー・マレージングラブ事業	4億円	6億円
○地球温暖化対策技術開発事業(競争的資金)	0.3億円	0.35億円
○国立環境研究所による技術開発事業	27.16億円の内数	33.02億円の内数
○エコ燃料実用化地域システム実証事業	2億円	1.9億円
○エコ燃料利用促進補助事業		27.8億円(新規)
		8億円(新規)

(別表 1-2e③)、【経】

○現時点における2010年度の排出削減見通し

- ^考^

目標達成計画における2010年度の排出削減見込量

- ③ 天然ガスコージェネレーション 約 1,140 万 t-CO₂
④ 燃料電池 約 300 万 t-CO₂

※ 2005年度まで実績、2006年度以降は見込み

- ## ① 天然ガスコージェネレーション

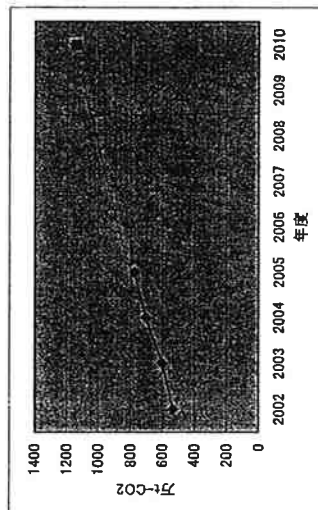


Figure 2 is a bar chart titled 'Figure 2' showing the number of cases of infectious diseases (in thousands) from 2002 to 2010. The Y-axis is labeled '万-02' and ranges from 0 to 350 in increments of 50. The X-axis is labeled '年度' and shows years from 2002 to 2010. The chart shows a general upward trend in cases over the period, with a significant peak in 2009.

年度	万-02
2002	~10
2003	~15
2004	~20
2005	~25
2006	~30
2007	~35
2008	~40
2009	~320
2010	~150

算出方法	備考
$\text{導入量(kg)} \times \text{削減係数} (\text{CO}_2/\text{kW})$	削減係数: kW を CO_2 換算するときの係数。天然ガスコージェネレーション ² 2,289、燃料電池 ¹ 1,9836 (火力代替される場合の平均係数)。

2. 2. 校策評価指標の実績と見込み

- 現時点における対策評価指標の 2010 年度の見通し
- ① 天然ガスコージェネレーションの累積導入量<約 503 万 kW>
 - ② 燃料電池の累積導入量<約 220 万 kW>

△ 附錄 ▽

目標達成計画における対策評価指標＜2010年度見込み＞

- ① 天然ガスコージェネレーションの累積導入量＜約498万kW＞
② 燃料電池の累積導入量＜約220万kW＞

[illegible]